



高知大学研究拠点プロジェクト（平成 22-27 年度）  
掘削コア科学による地球環境システム変動研究拠点

# 第2回 掘削コア科学シンポジウム

日時：平成 23 年 2 月 28 日（月） 10 時 30 分～17 時  
会場：高知大学朝倉キャンパス メディアの森 6 階 メディアホール

## ■プログラム（予定）

- 10:30-10:40 （趣旨説明）掘削コア科学プロジェクトの概要  
池原 実（高知大学）
- 10:40-11:20 熱水探査用化学センサ開発  
岡村 慶（高知大学）
- 11:20-12:00 付加体堆積物の続成過程と弾性波速度  
橋本善孝（高知大学）
- 13:00-13:30 ポスター発表コアタイム（ポスドク，大学院生ほか）
- 13:30-14:00 白鳳丸 KH-10-7 次航海の成果速報～南大洋での IODP 掘削提案へ向けて～  
池原 実（高知大学）・香月興太（高知大学）・岡本周子（高知大学）・  
野木義史（国立極地研）・中村恭之（海洋研究開発機構）・大岩根尚  
（国立極地研）・KH-10-7 乗船研究者一同
- 14:00-14:30 新生代南極氷床発達史～IODP Exp318 の船上成果と現状～  
岩井雅夫（高知大）・香月興太（高知大）・IODP Exp.318 Shipboard Scientist
- 14:30-14:50 季節性の観点から見た鮮新世後期の海洋古環境  
近藤康生（高知大学）
- 15:10-15:40 始新世～漸新世における古地磁気強度変動の解明に向けて - IODP Site U1332 コア測定の  
経過報告  
山本裕二（高知大学）
- 15:40-16:00 アイスランドの歴史溶岩と完新世溶岩による古地磁気強度測定  
田中秀文（高知大学）・橋本優子（高知大学）・守田倫子（高知大学）
- 16:00-16:20 遊性有孔虫の左右二型集団の遺伝的進化と海洋指標への応用  
氏家由利香（高知大），Thibault de Garidel-Thoron (CEREGE, France),  
Frederic Quillevere (University of Lyon), 浅見崇比呂（信州大）
- 16:20-16:55 （総合討論）掘削コア科学プロジェクトの今後の展開
- 16:55-17:00 閉会挨拶  
小槻日吉三（高知大学 理事・副学長）

聴講自由

問い合わせ：池原 実（高知大学自然科学系理学部門）088-864-6719, ikehara@kochi-u.ac.jp



Research Center for Global Environmental Change by Earth Drilling Sciences  
**GEEDS**

<http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/geeds/index.html>